

石巻市など4市4町の 小・中学校99校に 教育図書、教材を寄贈

すぐに必要とする図書、教材を

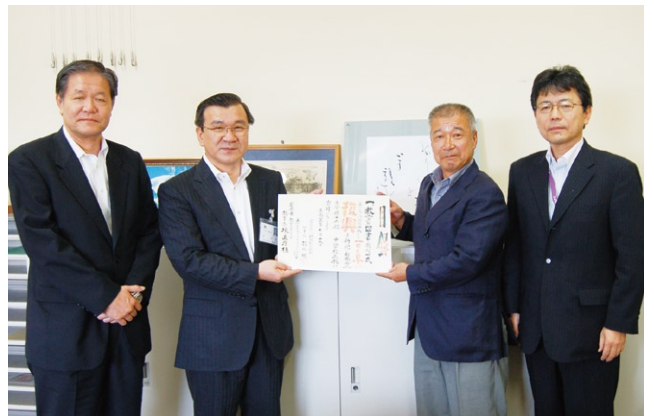
東北地方を中心に大きな被害をもたらした東日本大震災。発生から1年6カ月あまりがたち、地震・津波による被害が甚大だった岩手、福島、宮城の3県でも復旧に向けた活動が進められています。

理想教育財団では被災直後より、このような被災地に対してどのような支援が可能かを検討していましたが、被災した学校で授業を進める上で必要な教育図書や教材などが地震・津波によって流失、散逸し、ひじょうに学校が困っているとの情報が寄せられたため、学校が求めている図書、すぐに使いたい教材などの寄贈をすることとしました。

各地の教育委員会と学校を訪ねてじかにご意見、ご要望をお聞きし、それに沿って図書を選定しました。それらの図書の購入に際しても地元支援の思いを込めて地元の書店さんなどに依頼し、書店さんから各学校に納入していただくこととしました。



●**気仙沼市**● 中央が気仙沼市教育委員会の白幡勝美教育長。「本市は、被災により多くの小学校が困難を抱えました。本は長く学校に残って大事に使われていくものですが、それがとても不足していました。理想教育財団の今回の支援は、今すぐに必要な本の寄贈という掛け替えのない支援であり、感謝しております」（白幡さん）



●**石巻市**● 寄贈図書目録を囲んで石巻市教育委員会の境直彦教育長（中央左）と藤澤英昭理想教育財団理事（千葉大学名誉教授）。左端は酒井純司理想教育財団専務理事、右端は五十嵐秀隆事務局長。「明日が終業式というタイミングで、本を夏休み中に読めます。たいへんありがたいです」（境さん）石巻市の寄贈式には地元河北新報社、石巻日日新聞などが取材に姿を見せました。



●**南三陸町**● 教育委員会室で。中央が南三陸町教育委員会の佐藤達朗教育長。「町の6～7割、場所によっては8割が津波などで大きな被害を受けました。先生方の多くも被災しました。子どもたちはつらさを見せず、元気になっています。財団さんのご厚意に感謝しています」（佐藤さん）



●**女川町**● 図書目録を掲げる女川町教育委員会の村上善司教育長。その向かって左一人おいて・酒井孝正女川町議会副議長、中郡秀吾教育総務課課長。「読書活動をしてきましたが、被災で途切れました。厳しい状況ですが、子どもたちが本を読み、心を豊かにし、前を向いて歩けるようにしてもらいたと思います」（村上さん）

寄付や助成を受けて

平成23年度には、岩手県陸前高田市、岩手県釜石市、岩手県大槌町、岩手県大船渡市の各教育委員会に、小学校34校、中学校23校を対象として図書、教材の寄贈を行いました。

今年度は、宮城県では石巻市、女川町、気仙沼市、南三陸町の、また岩手県では宮古市、山田町、陸前高田市、大槌町の、それぞれの教育委員会に、小学校75校、中学校24校を対象として図書、教材の寄贈を行いました。

なお、この東日本大震災被災校への特別支援事業に要する資金として、当財団の活動費からの支出とともに、当財団の関係各位並びに賛助会員各位に寄付をお願いし、平成23年12月20日、473の個人、法人から合計3,871,440円の寄付をいただきました。

さらに今年度は、郵便事業株式会社より「東日本大震災の被災者救助・予防（復興）助成」として、500万円の助成を受けました。

本事業は、今後も被災地の学校、教育委員会と話し合いを続け、図書寄贈を進めてまいります。



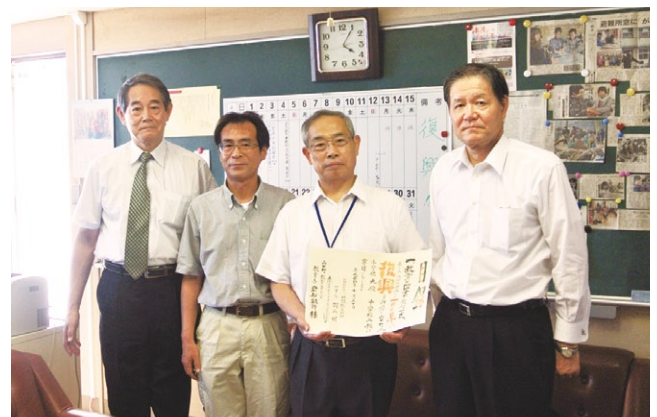
●陸前高田市● 中央右が陸前高田市教育委員会の山田市雄教育長。左端は金賢治教育次長兼生涯学習課長、右端は三浦紀久果指導主事。「市内の小・中学校すべてで、今年中に仮設の運動場が使えるようになりますが、一昨年に比べて明らかに子どもの体力が落ちていることが心配です」（山田さん）



●宮古市● 図書目録を手にする宮古市教育委員会の佐々木敏夫教育長（中央右）。中央左は学校教育課の佐藤和男課長。右端は佐々木勝浩理想教育財団理事（国立科学博物館名誉館員）。「宮古市は教育立市を掲げていますし、読書にも力を入れています。学校が必要としている図書を寄贈していただけて、たいへんありがたく思います」（佐々木さん）



●大槌町● 右が大槌町の伊藤正治教育長。「本町でもたいへん多くの子どもが被害を受けておりますが、前年に続き今年度も、指導書、教材の寄贈にご配慮いただき、ほんとうにありがたい、助かっております。いまは、震災後の子どもの心のケア、生き方に心を砕いております」（伊藤さん）



●山田町● 中央右が山田町教育委員会の岩船敏行教育長。中央左は菊池利博教育次長。「子どもたちは我慢を強いられています。しかし子どもたちの元気な声と笑顔が、復興の第一歩だと思います。そうした子供たちの育成のために、今回の支援は非常にありがたく感じています」（岩船さん）